

語り継ぐ平和への思い



# すいとんの会

戦争を体験された方のお話をお聴きし、戦時中の代用食「すいとん」を食べ、いのちや平和の大切さについて語り合います。

日時

令和5年12月3日(日)

13:30 ~ 16:00 (13:00開場・先着順)

申込不要  
定員60名

会場

若松地域センター 第一集会室

新宿区若松町12-6(都営大江戸線若松河田駅 河田口徒歩2分)

被爆体験  
講話

講師

よしはま さちこ  
**吉濱 幸子 氏**

(新宿区被爆者の会・新和会)

昭和6年生まれ(現在92歳)。広島での被爆を経験後、薬剤師を目指し東京へ。結婚後、西落合の地に「ときわ薬局」を開店。45年間にわたりお店を続け、平成15年に閉店を迎えた。

昭和20年8月6日、女学校3年生(14歳)の時に広島で被爆した。学徒動員のため爆心地から1.2kmの距離にある工場に防空壕を掘っていた時の出来事だった。

深さ1.5メートルの穴の中にいたおかげで奇跡的に助かったが、穴から這い上がった時の光景はそれまでとはまるで違うものだった…

## 「すいとん」ってなに？

すいとん  
の試食

「すいとん」は、小麦粉を練った生地を汁で煮た料理です。十分な食料がなかった戦時中には、米の代用食として「すいとん」が食されていました。戦時中の粗末な「すいとん」と、美味しく調理された現代の「すいとん」を食べ比べします。

※試食する「すいとん」はアレルギー対応していません。



現代の「すいとん」



【主催】新宿区平和派遣の会・新宿区

【問合せ】新宿区総務部総務課 TEL 03-5273-3505 FAX 03-3209-9947